

# 広島県公立高校出題傾向と対策 / 国語

## 傾 向

### 【 概 要 】

国語の入試は大問4題から構成され、それぞれ文学的文章、説明的文章、古典、小論文というのが基本的な出題形式となっています。しかし、2020年度入試では大問2で随筆に近い作品が出題されており、必ずしもこの4分野からそれぞれ出題されるものでないという前例を作ったため今後の動向には注視をする必要がありそうです。過去3年の平均点は23.5→23.6→26.5と推移しており、やや易化傾向にあり全科目の中では比較的平均点が高めの教科となっています。得点源となる教科であり、5科目の中で最初に行われる科目ですから、国語の失敗は否否に大きな影響を及ぼす可能性があります。しっかりと演習して高得点を目指しましょう。設問の全体的な傾向としては、記号選択問題や本文からそのまま書き抜いてくる問題は減少傾向にあり、文章読解力・表現力・記述力を試す問題が増えてきているのが大きな特徴です。また、その記述問題の中には200字以内で書かせるものも出題されています。2020年度入試では、漢字の読み書きが3問ずつ6問(前年度は4問)、記号選択問題が5問(前年度も5問)、熟語の構成が1問、接続語が1問、語句・文章の抜き出し問題に至っては出題されず(前年度は1問)、記述問題が9問(前年度は10問)出題されました。

### 【分野別傾向】

文学的文章では、随筆の出題は極めて少なく今まで小説・物語がよく出題されてきており、特に近年では横光利一や川端康成、志賀直哉など大正から昭和にかけて活躍した作家の書く文章が出題されています。説明的文章では、中学生ではややとらえにくい抽象的なテーマに関する文章が多く出題されてきましたが、先述の通り2020年度入試では説明的文章は出題されませんでした。今後の出題内容には注意が必要でしょう。古典では、「御伽草子集」という物語集からの出題でした。漢文は2019年度入試に久方ぶりに出題されましたが二年連続での出題はありませんでした。来年以降出題される可能性はありますので、漢文の基礎知識は一通りチェックして演習しておきましょう。小論文形式の問題は7年連続大問4として出題されましたので、今後も150～250字程度の長文記述が出題されそうです。

## 対 策

### 【分野別対策】

#### 文学的文章

文章中に書かれていること(あらすじや登場人物の心情など)を正確に読み取り、自分勝手な思いこみをしないことが大切です。「私はこう思う」から一步進めて、「普通ならこう思うはずだ」という、より客観的な視点を持つように普段から意識して文章を読むトレーニングをしましょう。

#### 説明的文章

まず、筆者の言いたいこと、つまり主題は冒頭もしくは最後の一段落に示されていることがほとんどです。それを正確につかむことが必要です。段落の全体的な構成は概ね『導入(プロローグ)⇒問題の提示⇒問題の考察⇒まとめ』のようになっています。これらの流れの中で、それぞれの段落の役割を把握することが重要です。対策としては、教科書の論説文の書き写しが意外と効果的です。

#### 古 典

古典は何よりも慣れ親しむことが大切です。教科書の古典の暗唱・音読が非常に効果的です。また、過去問を中心とした問題演習もしっかりとやっておきましょう。

#### 小論文

「資料を客観的に読み取る」「自分の意見・理由を整理する」「それらをわかりやすくまとめる」といった練習が必要になりますので、普段の生活で見聞したものに対し常に自分の意見を持ち、それを文章にまとめる訓練をすると良いでしょう。

### 【設問別対策】

指示代名詞の内容把握は読解の基本ですから、前後3行を中心に指示内容をつかむ練習をしっかりと行いましょう。説明的文章では各段落の要点を表にまとめ、その内容を書かせる問題が近年連続して出題されています。段落ごとの相互関係を意識しながら読解する訓練を積みましょう。また、段落ごとの要約の練習もしておきましょう。古典の歴史的仮名遣いは、読んだとき違和感のある「は・ひ・ふ・へ・ほ」⇒「わ・い・う・え・お」や「み・ゑ・を」⇒「い・え・お」など基本的な書きかえの練習をしておきましょう。また「すべてひらがなにして」などの指示をよく読み、ケアレスミスのないように普段から心がけましょう。漢文の書き下しでは、「レ点、一・二点」などの読む順序や、助詞や助動詞はひらがなに直すなどの基本を確認し身に付くまで演習して下さい。

# 広島県公立高校入試出題一覧表 / 国語

出題内容		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
文学的文章	1. 漢字(読み)		○	○	○		○	○	
	2. 漢字(書き取り)	○				○	○		○
	3. 適語補充(記号選択)		○						
	4. 適語補充(適切な表現)	○				○			○
	5. 適語補充(抜き出し)	○							
	6. 記述(心情説明)	○	○				○	○	○
	7. 記述(内容把握)	○		○	○	○	○	○	○
	8. 抜き出し(心情把握)								
	9. 段落分け								○
	10. 記号選択(慣用表現)								○
	11. 記号選択(心情把握)	○	○	○	○		○		
	12. 記号選択(四字熟語・慣用句・ことわざ)			○					
	13. 記号選択(心情説明)				○		○		
	14. 記号選択(内容把握)		○		○	○			○
	15. 記号選択(文章挿入)								
説明的文章	1. 漢字(読み)	○				○			○
	2. 漢字(書き取り)		○	○	○			○	
	3. 適語補充(記号選択)					○			
	4. 適語補充(適切な表現)					○	○		
	5. 適語補充(抜き出し)	○	○	○	○	○	○		
	6. 記述(内容把握)	○	○	○	○	○	○	○	○
	7. 記述(理由説明)			○				○	○
	8. 記述(段落要点)				○			○	
	9. 指示語の指示内容	○					○		
	10. 段落分け							○	
	11. 記号選択(接続詞・副詞)	○		○	○				○
	12. 記号選択(内容把握)								
	13. 記号選択(熟語の構成)			○			○		○
	14. 記号選択(文章挿入)	○	○						
古典	1. 歴史的仮名遣い	○	○	○	○	○	○		○
	2. 主語	○							
	3. 指示語の指示内容								
	4. 記述(内容把握)	○	○	○	○	○	○		
	5. 記述(心情説明)					○	○		○
	6. 記号選択(語句の意味)		○						
	7. 記号選択(内容把握)	○	○	○	○	○	○		○
	8. 記号選択(心情説明)					○			
	9. 記号選択(現代語訳)								
	10. 記号選択(適語補充)		○	○					○
	11. 段落分け								
	12. 漢文書き下し								○
	13. 漢文の返り点・送りかな								○
	14. 漢文の現代語訳								○
	15. 抜き出し(内容把握)			○					○
小論文	1. 記号選択(資料の読み取り)		○	○	○				
	2. 記述(意見記述)		○	○	○	○	○	○	○